

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
21	創価大学	がん看護論	大釜 徳政	1	春学期	火	8	9:00～10:30 10:45～12:15	創価大学	若干名

【到達目標】

- がん看護に関連する概念を理解し、説明できる。
- がん看護にともなう倫理的問題を述べることができる。
- がん看護の基礎知識・技術を述べるができる。
- 放射線療法、化学療法を受ける者に対する看護について説明できる。
- がん医療の基礎を説明できる。
- がんの増殖過程と治療、化学療法・放射線療法・手術療法・緩和ケアの基礎を説明できる。
- 患者並びに家族に対する告知・インフォームド・コンセントの抱える問題を説明できる。
- 検診のメリットとリスクを述べるができる。

【授業の概要】

がんおよび治療による全人的苦痛を抱える患者とその家族に対して、保健医療福祉システムとの連携を視野に入れ、患者と家族の生活の安寧と質の向上のための看護の基礎知識・技術を学ぶ。
 具体的には、がん看護に関連する概念を理解し、がん看護にともなう倫理的問題、放射線療法、化学療法、手術療法および緩和ケアを受ける者に対する看護について学修する。

【授業内容】

1. がん看護の特徴
2. がん看護の特徴
3. 放射線療法と看護
4. 化学療法と看護
5. がん医療の基礎知識(がん医療の最前線に存在する諸問題を取り上げ、看護師としてがん患者にどう接するべきか考える契機とする。)
6. がんの増殖過程と治療、化学療法・放射線療法・手術療法の基礎知識-手術療法を中心に-(がん治療の最前線に存在する諸問題を取り上げ、看護師としてがん患者にどう接するべきか考える契機とする。)
7. 患者並びに家族に対する告知・インフォームド・コンセントの抱える問題(病名告知後の患者や家族の心理状態に関する事例、治療に際し意思決定のできない患者の事例について学ぶ。)
8. 今日の緩和ケアの実際

【成績評価方法】

- 定期試験:50%
- レポート:30%
- その他:20%(出席状況)

【教科書】

なし

【参考書、教材等】

1. がん看護学:系統看護学講座、別巻、小松浩子ら、医学書院、2017、2200円、ISBN978-4-260-02763-2
2. がん看護学:臨床に活かすがん看護の基礎と実践、大西和子・飯野京子、ヌーヴェルヒロカワ、1911、3,150円

※ この授業は、4/7(火)が初回です。